



大直禰子神社本殿 || 桜井市二輪で

疫病治め平和もたらす

おお おお
おお たた
おお ね
おお こ
大直禰子神社は、本社二
大神神社の摂社である

大直禰子命を見出し祭
つたところ、疫病は治ま
つて国が平和になり栄え

輪寺に変え、大直禰子の御神像とともに、本尊の十一面觀音菩薩立像

て残り、大神寺本堂であつた奈良時代の部材も残つていて、国の重要文化

をはじめ、時代装束に身を包んだ氏子や稚児など総勢約250人が、三輪



大直禰子神社（桜井市）

の鳥居から北側約100メートルに鎮座します。

「古事記」には、第十

代崇神天皇の時代の大流行病、天皇は大疫病

天皇は力物の神託により、行時神の大洗のねのい。

大直禰子命を見出し祭おおただのねこのみことみつけしまつり

つたところ、疫病は治ま

つて国が平和になり栄え

輪寺に変え、大直禰子の御神像とともに、本尊の十一面觀音菩薩立像

て残り、大神寺本堂であつた奈良時代の部材も残つていて、国の重要文化

をはじめ、時代装束に身を包んだ氏子や稚児など総勢約250人が、三輪

たと記されていります。平
安時代の「延暦僧録」

（現在は桜井市聖林寺に安置＝国宝）など諸仏が祭られていました。

財に指定されています。また、大直禰子命が大物主大神の子孫であることから若宮社とも呼ばれま

(交通) J R 三輪駅から 桜井市三輪1
(住所) 桜井市三輪1
(祭神) 大直禰子命、活玉依姫命

徒歩約10分
少彦名命、
(拝観) 墓
(駐車場)
(電話) 0

内自由
無料（大神神社駐車場）
744・42・6633
(大神神社)

の会員 池田崇